

地域再生計画

1 地域再生計画の名称

森林文化都市はんのう 北欧文化プロジェクト

2 地域再生計画の作成主体の名称

埼玉県飯能市

3 地域再生計画の区域

埼玉県飯能市の全域

4 地域再生計画の目標

4-1 地方創生の実現における構造的な課題

飯能市は都心から50km圏内に立地しアクセスしやすい地域でありながら、豊かな自然を体験でき、市街地を取り囲むように北欧の雰囲気やムーミンの世界観が体験できる施設「メッツァ」、北欧童話の世界観をモチーフとした公園「トーベ・ヤンソンあけぼの子ども森公園」や「飯能河原、天覧山」といった観光スポットがあり、それらを面的に連携させた都市回廊空間として魅力向上を図っていることで、本市の交流人口は増加の一途をたどっている。

その一方で、定住人口は、平成17年の84,982人をピークに減少に転じ、若者世代の転出超過は人口減少に拍車をかけている。特に山間地域においては、地域の生活を支えた林業が衰退し、地域住民の雇用を支える基幹産業がなく、人口減少、高齢化が進み、公共交通の維持が難しい状況になっている。

そのため、都市回廊空間としての魅力を磨き上げることに加え、その勢いを山間地域に波及させるため、観光交流拠点を整備するとともに、観光資源の魅力をさらに磨き上げ、新たな人の流れや経済活動（仕事と雇用）を創出し、交流人口の増加から移住・定住につなげていく必要がある。

4-2 地方創生として目指す将来像

【概要】

飯能市は現在、市街地を取り囲むように点在する観光スポットについて、各拠点の魅力をブラッシュアップするとともに、面的に連携させて都市回廊空間としての魅力の構築に取り組んでいる。特に拠点の一つである、北欧の雰囲気とムーミンの世界観が体験できる施設「メッツァ」の開業も相まって、メッツァを含む市街地の都市回廊空間を訪れる交流人口は増えつつある。

この増加した交流人口をメッツァ等の市街地の観光スポットにとどめず、山間地域に誘導し、新たな人の流れを創出することで、全市的にその効果を波及させ、交流人口の更なる増加及び人口減少に歯止めをかけることを目指している。

【数値目標】

K P I	事業開始前 (現時点)	2020年度増加分 1年目	2021年度増加分 2年目
名栗地域観光交流拠点入込客数(人)	55,000	2,000	6,000
飯能市さわらびの湯の利用者数(人)	70,900	400	400
飯能市さわらびの湯の利用料金(千円)	48,000	500	500
施設売上高(自主事業収入)(千円)	20,000	500	500

2022年度増加分 3年目	K P I 増加分 の累計
-	8,000
-	800
-	1,000
-	1,000

5 地域再生を図るために行う事業

5-1 全体の概要

5-2の③及び5-3のとおり。

5-2 第5章の特別の措置を適用して行う事業

○ 地方創生推進交付金（内閣府）：【A3007】

① 事業主体

2に同じ。

② 事業の名称

山間地域観光・交流エリアブラッシュアップ事業（北欧文化プロジェクト）

③ 事業の内容

山間地域観光・交流エリアブラッシュアップ事業（北欧文化プロジェクト）として、2つの事業を実施し、相互に効果を発揮させ、山間地域へ賑わいを誘導する。

(1) 名栗地区観光交流拠点の自立運営

市街地周辺に点在する主要な観光スポットを連結した都市回廊空間から、観光客を山間地域へ誘導するため、山間地域の観光・交流拠点として、リニューアルする「飯能市農林産物加工直売所」の北欧の雰囲気を経験できる宿泊事業、イベント事業、森林に関する体験事業、農林産物の販売等の実施に併せて、地域の観光拠点となる「飯能市さわらびの湯」を北欧がイメージできる施設へブラッシュアップすることにより、来訪者を増加させ、施設運営の自立化を促進する。

また、観光拠点エリアが一体となったイベントの開催、地元からの食材等の調達など、地元の消費・仕事・雇用を創出するとともに、地域外の資金を誘導し、地域内での循環を実現する。地元住民等も参加した事業を展開することで、地域への愛着、誇りを持つことを目指す。また、運営、イベント等では公共交通バスの利用を促進することで路線バスの維持、確保にもつなげるものとする。

(2) 観光施設のブラッシュアップ

本事業のエリアの「農林産物加工直売所」が北欧を感じることができる施設にブラッシュアップされるのに伴い、隣接する「飯能市さわらびの湯」を含めたエリア全体として北欧をイメージできるエリアとするため、ランドデザイン及び施設の魅力向上を図る。

観光拠点エリアのブラッシュアップにより、観光交流拠点と連携した賑わいの誘導、魅力の相乗効果につなげる。山間地域観光交流エリアブラッシュアップ事業として、2つの事業を実施し、相互に効果を発揮させ、山間地域へ賑わいを誘導する。

④ 事業が先導的であると認められる理由

【自立性】

飯能市さわらびの湯は市が設置し、民間事業者による指定管理により運営する。民間事業者の創意工夫により、各種サービスを提供して収入を得ること、かつ民間事業者の持つノウハウを生かしたプロモーションを展開し利用者の確保を図ることで、市の支援に頼らない「稼ぐ力」を発揮した運営が可能である。

【官民協働】

市の施設を指定管理者制度による運営とし、民間の経営ノウハウ、アイデアを活用するとともに、地域の林業家や事業者等と連携していくほか、イベントとの連携などにより、観光・交流拠点としての充実を図る。また、イベント実施にあたっては、イベントの主催者やスポンサーの獲得に努め、イベント利用料収入のほか、民間資金をもって事業を展開していく。

【地域間連携】

埼玉県の南西部に位置し、地域的につながりの深い5市（埼玉県飯能市、所沢市、狭山市、入間市、日高市）で構成する埼玉県西部地域まちづくり協議会等と連携を図り、圏域としてスケールメリットを生かしたプロモーションを展開する。また、様々な連携を行っている横浜市、墨田区、豊島区、埼玉県秩父市などとの連携による広域的なプロモーションも進める。

【政策間連携】

山間地域における「水と緑の回廊空間」と、中心市街地の「都市回廊空

間」との間において生じる人の流れを双方向の賑わいにつなげる。また、山間地域の観光・交流拠点においては、観光振興・農林業振興の政策間連携により、賑わいの創出や地域の活性化、人や産業の地域資源の活用につなげる。

⑤ 事業の実施状況に関する客観的な指標（重要業績評価指標（K P I））

4－2の【数値目標】に同じ。

⑥ 評価の方法、時期及び体制

【検証方法】

毎年度5月に、前年度3月末時点のK P Iの達成状況を企画部地方創生推進室が取りまとめる。

【外部組織の参画者】

大学や産官学民の連携組織である飯能市地域創生会議、指定管理者委員会による意見や議会の関与を得ながら検証結果報告をまとめる。

【検証結果の公表の方法】

実績値を飯能市のホームページで公表する。

⑦ 交付対象事業に要する経費

- ・ 法第5条第4項第1号イに関する事業【A3007】

総事業費 31,000千円

⑧ 事業実施期間

地域再生計画の認定の日から2022年3月31日まで

⑨ その他必要な事項

特になし。

5－3 その他の事業

5－3－1 地域再生基本方針に基づく支援措置

該当なし。

5－3－2 支援措置によらない独自の取組

(1) エコツーリズム推進事業

ア 事業概要

年間約 150 本のエコツアーを実施。
ツアー参加者は約 4,000 人を想定。

イ 実施主体

埼玉県飯能市、エコツーリズム推進協議会

ウ 事業期間

2020 年 4 月 1 日から 2022 年 3 月 31 日まで

(2) 森林保全事業

ア 事業概要

間伐体験や森林づくり、自然体験などを通じ、自然とのふれあい、環境教育、情操教育の場として活用を図る。

イ 実施主体

埼玉県飯能市

ウ 事業期間

2020 年 4 月 1 日から 2022 年 3 月 31 日まで

(3) メツツアとの連携事業

ア 事業概要

北欧の雰囲気とムーミンの世界観が体験できる施設メツツア運営業者である(株)ムーミン物語と連携した、誘客を目的としたイベント開催や共同プロモーションを行う。

イ 実施主体

埼玉県飯能市、(株)ムーミン物語

ウ 事業期間

2020 年 4 月 1 日から 2022 年 3 月 31 日まで

6 計画期間

地域再生計画の認定の日から2022年3月31日まで

7 目標の達成状況に係る評価に関する事項

7-1 目標の達成状況に係る評価の手法

5-2の⑥の【検証方法】及び【外部組織の参画者】に同じ。

7-2 目標の達成状況に係る評価の時期及び評価を行う内容

4-2に掲げる目標について、7-1に掲げる評価の手法により行う。

7-3 目標の達成状況に係る評価の公表の手法

5-2の⑥の【検証結果の公表の方法】に同じ。